

憲 法 (配点 60 点)

以下の設例を読み、質問に答えなさい。

【設例】

Y (28 歳) は、平成 17 年 8 月に「A 市営住宅条例」(**【資料 I】**。以下、「本件条例」という。)に基づき A 市 B 町に位置する市営「花園住宅」の 1003 号室 (以下、「本件住宅」という。) への入居決定を受けた。Y は、本件住宅に入居後、近隣住民に迷惑をかけたことはなく、むしろ地域の活動に積極的に参加し、本件住宅の住民からも好意をもって迎え入れられている。

ところで本件条例 30 条柱書きには「市長は、入居者が次の各号のいずれかに該当する場合において、当該入居者に対し、当該市営住宅の明渡しを請求することができる。」と規定されている。平成 19 年 12 月に A 市議会は、暴力団員が市営住宅に入居を続ける場合、当該市営住宅の他の入居者等の生活の平穏が害されるとして、本件条例を改正し、「暴力団員でないこと」を入居者資格とするとともに (7 条 5 号)、30 条 6 号として「暴力団員であることが判明したとき (同居者が該当する場合を含む。)」を新たに規定した (以下、「本件規定」という。)。なお、本件条例において、「暴力団員」とは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(**【資料 II】**。以下、「暴対法」という。) 2 条 6 号に規定する暴力団員をいうものと定義されている。

平成 22 年 10 月、A 市は、C 県警からの連絡によって Y が暴力団 N 会系 M 組の組員であることを知った。そこで、A 市は、本件規定に基づき、Y に対して本件住宅の明渡しを請求した。

【設問 1】 (配点 20 点)

憲法 14 条 1 項の「法の下に平等」の意味について説明しなさい。

【設問 2】 (配点 20 点)

本件規定は、憲法 14 条 1 項に違反するか。

【設問 3】 (配点 10 点)

「居住の自由」(憲法 22 条 1 項) の法的性格について述べなさい。

【設問 4】 (配点 10 点)

本件規定は、憲法 22 条 1 項に違反するか。

【資料 I】

「A 市営住宅条例」

第 1 条 この条例は、住宅が国民の健康で文化的な生活にとって不可欠な基盤であることに鑑み、低額所得者その他住宅の確保に特に配慮を要する市民の住宅の安定の確保を図るため、市が当該生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者等に対して低廉な家賃で賃貸することを目的とする。

第 7 条 普通市営住宅に入居することができる者は、次の各号に掲げる条件を備える者とする。

五 その者及び現に同居し、又は同居しようとする親族が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 7 7 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）でないこと。

第 3 0 条 市長は、入居者が次の各号のいずれかに該当する場合において、当該入居者に対し、当該市営住宅の明渡しを請求することができる。

六 暴力団員であることが判明したとき（同居者が該当する場合を含む。）。

【資料 II】

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成 3 年法律第 7 7 号）

第 2 条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

二 暴力団 その団体の構成員（その団体の構成団体の構成員を含む。）が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体をいう。

六 暴力団員 暴力団の構成員をいう。